

ステップアップ研修 No.5のご案内

共に考え、実践につなげよう  
「デジタルと紙のベストミックスで  
目指す図書館の未来とは？」

皆さんは、これからの図書館の姿をどのようにイメージしていますか？

安心できる居場所？

読書や対話によって知識や体験が得られる交流の場？

課題解決を後押ししてくれる所？

…変化の激しい社会情勢の中、地域で暮らす人々にとって、

図書館はどのような存在になっていくのでしょうか。

2022年8月5日、長野県民は、だれでも、いつでも、どこからでも使える、

市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」と、

専門書を中心とした「県立長野図書館電子書籍サービス」がスタートしました。

「デジとしよ信州」は、夏の Digi 田甲子園への出場がきっかけで、

今年創設された「デジタルの日」広報ポスターに採用され、

「徒歩0分。図書館の近さが、本を身近にする。」

というキャッチコピーが注目されました。

8月25日には、県内市町村図書館をはじめとする文化施設・社会教育施設を介して、  
信州の暮らしから生み出されたコンテンツを蓄積・公開できる「信州デジタルコモンズ」が、

デジタルアーカイブジャパン・アワードを受賞しています。

これまで培ってきた図書館サービスに、これらの新しい取組をミックスしたら、

どんな姿が見えてくるのでしょうか。

デジタルと紙のベストミックスは、きっとそれぞれの地域の特色や、暮らす人によって、

さまざまな姿をしているのかもしれない。

身近なところから“ちょっと未来の図書館”を共に考え、

一歩を踏み出すきっかけになればと思います。

皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 2023年1月31日(火) 14:00～15:30 \*Zoomによるオンライン研修

講師 森 いつみ 県立長野図書館 館長、ほか

申込み 所属・氏名を明記の上「図書館の未来」の件名で下記までメールしてください。

長野県図書館協会 [nla@nagano-la.com](mailto:nla@nagano-la.com)

申し込まれた方には折り返し Zoom ミーティング招待状をメールします。

しめきり 1月24日(火) 問合せ 長野県図書館協会 026-217-9201

※事前に「デジとしよ信州」「県立長野図書館電子書籍サービス」の利用登録をして使ってみる  
こと、「信州ナレッジスクエア」を使ってみることをお勧めします。